

ひまわり

5 月号

このよで いちばん はやいのは

ロバート・フローマン原作 天野祐吉翻訳

「はやい」って なんだろう。

ウサギは速いかな。 たしかに カメよりは 速い。 でも、ツバメよりは遅い。

「はやい」とか「おそい」というのは、 なにかに くらべて いえることだね。

ウサギとイヌとウマとダチョウとネコとカモシカと人間が「ヨーイ、ドン」で100メートル競走をしたらだれが一番速いか、わかるかな。 (中略)

地上を走る動物のなかで一番速いのはチーターだ。中略

水の中を泳ぐ魚にはチーターよりももっと速いものがある。マグロの仲間はみんな速いがその中でもバンショウカジキはチーターより速い。

空を飛ぶ鳥の中には、バンショウカジキよりもっと速いものがある。鳥の中で一番速いのはツバメの仲間のハリオアツバメだ。

人間はツバメやチーターより遅いがツバメやチーターよりも速く走る道具をつくりだした。新幹線はその一つだ。自動車も速い。競走用の自動車は新幹線と競争しても決して負けない。ジェット旅客機は新幹線よりも競走用の自動車よりも速い。ジェット旅客機は、新幹線の速さで空を飛んでいる。ジェット旅客機よりもっと速いものがある。それは音だ。お寺の鐘をつくときとゴーンと音がする。その音は空気の波となってジェット旅客機よりも速くみんなの耳に届く。

音よりもっと速いものがある。地球が回っている速さだ。(中略) 地球が回っている速さより速いものを人間はつくりだした。人工衛星や宇宙船だ。(中略) 人工衛星よりも宇宙船よりもっと速いものがある。地球が太陽の周りをまわっている速さだ。地球が太陽の周りをまわるよりもっと速いものがある。光は速い。月からの光は、1秒ちょっとで地球に届く。だがその光よりもっと速いものがある。

それは、人間が頭の中に思い浮かべたり考えたりする力 ○○○○○○○だ。

○○○○○○○○に、はまる最後の言葉に感動しました。園文庫にありますのでお読みください。

5月行事

- 9日・23日・30日(金) 体操教室
- 14日(水) お茶を楽しもう(ぞう組)
合同避難訓練
- 16日(金) 発達相談(岡先生)
- 17日(土) 親子遠足
- 19日(月) 身体計測
- 21日(水) 内科検診 15時
- 22日(木) 誕生会
- 27日(火) 歯科検診 9時30分
- 28日(水) おにぎりの日(3・4・5歳児)
- 30日(金) ぞう組懇談会(お泊り保育)

お誕生日おめでとう

5月のお誕生児は
7名のお友だちです。

22日にみんなで
お祝いしたいと思います！

園長だより

「えっ嘘、どういうこと？」いつもと変わらない朝の通勤時、バイクに乗っていた私はおまわりさんに手招きされた。右折できない時間帯とのこと。思わず「標識はどこにあるのですか？」と聞くと、「あちらです。」と指差しされた。確かにあった。そこは以前は草がぼうぼう生えていたところで、でもそのときはすっかり刈られていて、標識がスッと立って見えた。私はショックを受けた。それは捕まったことではなく、点数が引かれたり罰金を払う羽目になったことでもなく、30年以上住んでいてその道を通っていたのに全く気がつかなかったことだ。

でもそういう事って案外日常的にあるかも、そんなふうにも思えた。当たり前と思っていることが実はそうともかぎらなかったり、先入観で人の話を聞いて相手の思いを理解していなかったり等。気をつけよう。しっかり見て聞いて感じ取って考えよう、と今さらながら自分自身を振り返る良い機会になった。そして2日後の朝、例の場所に目を向けたら、知らないで右折した車がおまわりさんに手招きされていた。

☆園集会のご参加ありがとうございました☆

たくさんの保護者の皆さんに参加していただいた園集会。今年度スタートの大きな園行事でした。特に初めて参加された新入園児の保護者の皆さんはいかがでしたか？まずウオーミングアップとして、保育士の手遊びから始まりました。ほぼぶっつけ本番でしたがその姿も自然体で、日頃の職員のアットホームな雰囲気が伝わったのではないかと思います。後半のクラス懇談会では、保護者の皆さんからのお話も伺えて「我が家もおんなじ！」と共感したり、ほっこりしたり、笑顔になったりと、とても有意義なひと時になったことと思います。ご協力をいただきありがとうございました。

☆保育参観・保育参加について☆

保護者の方に、お子さんの日頃の園での姿を見ていただこうと、「保育参観」「保育参加」を実施しています。

「保育参観」はお子さんに見つからないように隠れて見ていただきます。

「保育参加」はお子さんと一緒に過ごします。

詳しくは担任にお聞きいただき、ご希望の方は担任へ申し出て下さい。園と保護者の方の都合のよい日に行います。（プールの時と3月は実施していません）

当日は9時に登園していただき、昼食後お子さんと一緒に帰ります。

1月2月は混みあいますので、今年中がお勧めです。

☆避難訓練について☆

大船ひまわり保育園では毎月1回、いろいろな時間帯に火事・地震・不審者を設定し、避難訓練を行っています。その内容の概要をお知らせします。

○火事の場合

こあら・ひよこ組は、おんぶや抱っこでらせん階段からシャッター前まで避難。

りす・うさぎ組は、4階から園庭に出て、らせんすべり台でシャッター前に避難。

きりん・ぞう組は、バスターミナルまで避難。

○地震の場合

揺れの間、1カ所に集まり頭を守る。(幼児はダンゴムシポーズ)避難路を確保し、揺れが収まったら、園庭に全クラス避難。

○不審者の場合 暗号を決めておき、速やかに各フロアに伝達し、子どもを守る。(職員訓練)

○交流センター合同避難訓練 年2回。

○9月1日の「引取り訓練」…詳細は近くなったらお知らせします。

*毎月の避難訓練の日に、避難靴のサイズの点検をお願いします。

*避難訓練の日に時々、非常食を食べる経験もします。

☆お知らせ☆

○春の健康診断

・歯科健診 5月27日(火) 午前9時30分～

・内科健診 5月21日(水) 午後3時～

内科検診は必ず受けなければならない健診ですので、お休みはしない

ようにお願いします。お休みの方は、受診のみ来てください。

・尿検査 6月3日(火) 対象 うさぎ・きりん・ぞう組

○虫よけ、虫刺されの対応について

爽やかな季節になりましたが、これから蚊が発生するようになります。大船ひまわり保育園では、散歩の時に化学薬品を使用していない虫よけ「お肌のナチュラルガード」を、虫刺されに「ムヒベビー」を使用しています。後日クラスに見本を置きますので、使用不可の方は、担任まで申し出てください。園での「虫よけパッチ」や「リング」の使用はお控え下さい。

○ウイルス性胃腸炎の登園時の目安について

4月は下痢や嘔吐の症状で胃腸炎やお腹の風邪と診断されたお子さんが多くいました。

保育園では丁寧な手洗い、こまめにおもちゃ等の消毒を行ってきましたが、なかなか防ぎきれませんでした。「嘔吐、下痢の症状が治まり、普段の食事がとれること」が保育園の登園の目安になっておりますので、集団保育ということからも今後ともご協力をお願いします。

○その他

・3歳児以上の主食代2000円、副食代4900円に変更になりましたので、お配りした園のしおりの訂正をお願いします。

・エレベーターの延長ボタンを押した時は、その後必ず閉めるボタンを押してください。

・こあら組のお友だちが1名、4月末で退園になりました。

また遊びに来てくださいね。

・育休でお休みしていた保育士1名が5月から入りますので、よろしくお願いします。



こあら・ひよこだより

こあら

入園して約一か月が経ちました。こあら組のお友だちは保護者の方から離れて生活をするという初めての経験に、涙が出るお友だちもいました。だんだんとお部屋に慣れ、いつもいる保育者がわかるようになってきて、保育園生活へと気持ちを切り替えてにっこりと笑顔を見せてくれています。

室内では月齢の高いお友だちは部屋の中をハイハイして探索をし、マラカスやぬいぐるみなどのいろいろなおもちゃを棚から出しては手にして遊んでいます。月齢の低いお友だちは吊りおもちゃを掴んでひっぱったり、寝返りを打って近くにある音の鳴るおもちゃに手を伸ばして鳴らして遊んだりしています。2週間目頃からはバギーに乗って川沿いや玉縄児童公園へお散歩に出かけるようになりました。暖かな日差しと爽やかな風が子どもたちを包んでくれます。背もたれに寄り掛かりながらキョロキョロと外を興味深そうに眺めたり、バギーの心地よい揺れで眠りに誘われたり…。公園につくと月齢の高いお友達は、青々とした草やタンポポ、桜の花びらがいっぱいの地面をハイハイで探索し、拾った枝や石をジーッと見つめて口に運ぼうとする姿が見られています。月齢の低いお友だちはレジャーシートを敷いた上に寝そべり、シートの上で寝返りをうってキラキラした木漏れ日に目を細め、お友だちが遊ぶ姿を眺めたり、保育者の声掛けに笑顔を浮かべたりしています。これからも温かい穏やかな雰囲気の中、子どもたちがゆったりと成長していけるように、見守っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

今月の目標 こあらぐみ

- ・保育者と関わりながら、信頼関係を深める
- ・個人差に合わせた生活リズムを作り、安心して過ごす

今月の目標 ひよこぐみ

- ・生活の流れを覚え、気持ちよく一日を過ごす
- ・春の自然を感じるお散歩に沢山出かける

今月のうた

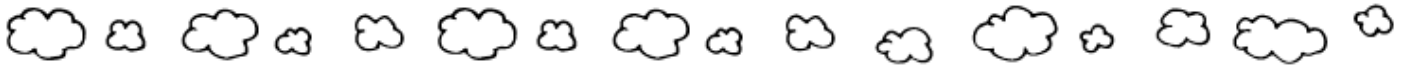
- ・たんぽぽひらいた
- ・つくしんぼ
- ・こいのぼり

ひよこ

進級して1か月、進級したお友だちも新しく入園したお友だちも毎日毎日新しい保育者、環境に少しずつ慣れてきて笑顔いっぱい一日を過ごせるようになってきました。始めの一週間はお天気も今一つでしたが、その後は気持ちの良い日が続き毎日お散歩にも行けるようになってきました。桜の開花が長引いてくれたおかげでお散歩中にも春を沢山感じる事が出来ました。桜の木の下で花弁がちらちらと舞い散るのを一生懸命追いかけたり、花びらを一枚一枚ひろってはにっこり見せてくれる姿がありました。また、長尾台公園へ大きなこいのぼりを見に行くと、びっくりした様子で見つめたり、指をさして大興奮で共感したりしていました。在園のお友だちは、初めての給食のお手伝いとして、じゃが芋洗いにも挑戦しました。両手いっぱいになるほどの大きな大きなジャガイモをタライの中で「ごしごし！」と言いながら夢中で洗っているお友だち、大きすぎてびっくりした様子で触らず見ているお友だちもいました。これから少しずつみなで野菜に触れながらお手伝いを楽しんでいければと思っています。春の暖かな日差しの中、虫やお花に触れながらゆったりと過ごしていきたいと思います。また、これからは暖かくなってくるので積極的にすなばあそびや暑い日には泥んこも楽しんでいければと考えています。心も体も目一杯楽しく気持ちの良い毎日を過ごしていきたいと思います。宜しくお願い致します。



いすうさぎだより



りすぐみ

新年度が始まりあっという間に一ヶ月が経ちました。すっかり新しい環境にも慣れ毎日元気に遊ぶ姿を見て、子どもたちの適応力に驚かされます。4月は無理なく、環境や先生に慣れ、安心して過ごせるように、登園後もゆっくりと好きな遊びを楽しみ、園庭に出て三輪車や遊具で満足いくまで遊び込みました。園庭での三輪車も新鮮で、子どもたちは汗ばむほど集中して楽しんでいました。ガソリンスタンド遊びがちょっとしたブームになり、シャワーホースを三輪車に当ててガソリンを入れる真似をしたり、修理をしてみたりと遊びが広がっています。川沿いのお散歩では、たんぽぽの綿毛を発見し、ふーと吹いて見せると子どもたちも「ふー」と優しく息を吹きかけ、綿毛が飛んでいくのを嬉しそうに見ていました。いつもの道でもたくさん発見がありのんびりと季節を感じながらの散策活動はとっても楽しいです。今年は、活動や遊びに関して時間が許す限りじっくりと、子どもたちが「満足いくまで」の気持ちを大切にしていきたいと思います！楽しかったゴールデンウィークが終わり、疲れも出てくると思うので今月も無理なく楽しく過ごしていきます！



☆今月のねらい

りすぐみ

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・保育者や他児と一緒に見立て遊びを楽しむ。

うさぎくみ

- ・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
- ・生活リズムを整え、安心してのびのびと過ごす。

♪今月のうた

- ・ことりのうた
- ・おつかいありさん

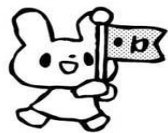


うさぎ組

進級・入園して一ヶ月が過ぎました。新しいお友だちも一名増え、ますます元気なうさぎさんです。最初は、ドキドキしているお友だちや、ちょっぴり不安なお友だちもいて涙することも…。ひとりひとりの気持ちを受け止めていく事で、今では「これ作ってよ」「これどうやるの？せんせい手伝って～」と甘えてくれるようになりました。そして、幼児クラスになり、リュックに水筒など、持ち物も増え「これカッコいいでしょ？」「ママに買ってもらったんだよ」と嬉しそうに見せてくれます。リュックを背負っての初めての散歩では、なんだかリュックが大きく見え、背負って歩く姿がとても可愛かったです。散歩に園庭遊びと、なにごとにも全力で楽しみ、汗だくになるほど。帽子をとって見せては「こんなに汗かいちゃった」と教えてくれます。かけっこをしたり、むっくりくまさんをして追い駆けあったり、ソフトブロックでお家を作っては、友だちとお家ごっこを楽しんだり、春の自然に触れて、だんご虫探しをしたり。友だちや保育者とどっちが大きいのをみつけたかと比べ合ったりと楽しんでいます。5月もたくさん自然に触れたり、集団遊びを取り入れたりと存分に楽しんで過ごしていきたいと思います。



きりん・ぞうだより



きりん組になって分園で過ごす日々も1ヶ月が過ぎました。始めは緊張した面持ちで「先生次は何をするの?」とひとつずつ慎重に新しい生活の仕方を聞いてきていた子どもたちでしたが、今では「次は…」という食い気味に「着替えでしょ!」と元気に笑顔で次の行動を口にしてくれるようになってきました。(その内容はあったり違うものだったり(笑)していて心のうちで楽しく聞いています。)

今月は3人のお友だちが早速5歳のお誕生日を迎えました。子どものお誕生日にはおめでたうのお歌と一緒に歌い、インタビューをしています。「それでは今日は何がしたいですか??」と聞くと照れ笑いだったり、嬉しそうに笑いながら「あそぶ! ✨」「たのしいこと ✨」と即答してくれます。それを聞いて、そうだよね!

「遊ぶこと」と「楽しいこと」がしたいよね! ✨と思わず深く頷きます。今年のみりのりクラスのテーマは「大好き」「楽しい」「会いたい」「行きたい」が集まる場所です。日々の瞬間の中に子どもたちのきらきらした感情が溢れ、どんな自分でも自分でいられること、そして自分のクラスを中心に興味関心が広がり・深まる循環していく中で、自分で考え思いを表現し、友だちと絆を育んでいくことを目指していきます。

人間好きなことがあれば苦手なこともあります。誰かと関わることで自然と好きなことが増えたり、「できたよ!」と喜びを伝え共有したいその気持ちを大事にしていけたらと思っています。できてもできなくても、やってもやらなくても「選択」をした自分を肯定にできるように。子どもたちの気持ち、子どもたち同士のやりとりを大切にしていきます。今月は初めて(生活・人間関係・散歩先・泥遊び・雨の日のお散歩・楽器遊び etc.)が沢山ありました。今月は経験を増やしながらか深めていけたらと思いますのでよろしく願いいたします。



☆きりんぐみねらい☆

- ・園での生活の流れがわかり身の回りのことを自分で行おうとする。
- ・保育者に気持ちを受け止めてもらいながらのびのびと自己表現をする。

★ぞうぐみねらい★

- ・友だちとの関わりを喜び、一緒にのびのびと遊ぶ。
- ・身の回りのことに意欲を持ち、自ら進んで行く。

今月の歌

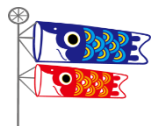
こいのぼり
幸せなら手をたたこう
いしんいしんいしん

☆ぞうぐみ☆

新年度が始まった朝も変わらず「おはよう!」と元気な姿を見せてくれるぞうぐみのお友だち♪今年の春は気温もぐんぐん上がり、時には初夏のような暑い日が続く日もありました。それでも水分補給をしっかりとしながら、遠くの公園を目指して力強く歩いたり桜の咲く公園でのんびりとお花見をしたり…沢山外に出て散歩を楽しむことが出来ました。

先日は年長クラスの大きな行事の一つとして茶道を行いました。着物を来た先生に子どもたちの目はキラキラ輝き興味津々♪初めは正座をし緊張していた様子も見られましたが、道具の使い方やお茶のたて方など先生が優しく教えてくれると「これでいいの?」「みてみて!」と会話を楽しむ姿が見られました。初めて自分でたてたお茶を飲んでみると「全部飲める」「ちょっと苦いけど…」など反応も様々。「粉入れすぎちゃったかも」「もっと少なくすればいいんじゃない?」などの感想の言葉も聞けました。今後毎月予定しているので、これからの様子も楽しみに見ていきたいと思っています。

他にも年長クラスになって様々な生活の変化があり、子どもたちも活動の中で自然に身に付いていっています。椅子やテーブルが変わった事やお当番が始まった事、避難訓練や身体測定など普段行っている行事などの少しの変化でも「あ!順番ぞうぐみが一番後ろで待ってるんだっけ」「ここに座って話を聞くんだよね」と子どもたち同士会話をしながら行動する場面が見られました。担任もそんな子どもたちの姿にほっこりしながら、子どもたち同士の関わりを毎日見守っていきたいと思います。



きゅうしょくだより 5月



端午の節句



5月5日は端午の節句です。園ではこどもの日の行事食として、5月2日にたけのこ御飯とこいのぼり春巻きの提供を予定しています。今が旬のたけのこ。その成長能力は凄まじく、1日に80～100cmも伸びるとされています。成長が早くどんどん伸びるので、子どもたちの成長を願い、端午の節句でよく食べられる食材です。

5月の行事食

5月2日 端午の節句

お昼：たけのこ御飯

おやつ：こいのぼり春巻き

たけのこ以外にも、5月の献立にはふきや絹さや、グリンピースやそら豆といった、旬の食材を多く使用したメニューを取り入れています。絹さやはすじ取り、グリンピースやそら豆はさやから豆を取り出すといったお手伝いを、毎年子どもたちをお願いしています。旬のものに触れ、味わうことで、色々な食材に興味をもってもらえたらと思います。



お米研ぎ始めました



4月からそう組さんでは、お米研ぎのお手伝いが始まりました。週に2回、自分たちで研いだお米を分園で炊いて、その日の給食に食べています。お米を研ぐのは子どもたちが行い、水は保育者が入れるのですが、水の加減は子どもたちもしっかりチェックしています。炊飯器をみんなで取り囲んで覗いて「まだ足りないよ!」や「もう大丈夫!」といった声が次々に出て、とても真剣に取り組んでいる姿がありました。昨年もそうでしたが、自分たちで炊いた日は、ご飯をしっかり食べてくれる日が多く、炊飯器が空っぽになる日も、『食』に関わることで関心が高まり、意欲的に食べる事に繋がっているようです。日本食の基本であるお米、美味しく沢山食べてもらいたいと思います。

保育園では、給食やおやつでほぼ毎日お米を食べているので、安心・安全なお米を選んでいきます。当園で使用しているお米は、日本有数の米どころ、山形県の庄内産のコシヒカリになります。一般的な特別栽培米（農薬の使用回数が50%以下であること、化学肥料の窒素成分が50%以下であること）よりも、更に厳しい管理の下に作られるお米です。農薬の使用は初期の除草剤1回のみで栽培されています。これは、慣行栽培標準使用基準（生産地ごとに決められた農薬の使用基準）の1/20の農薬散布回数です。また、化学肥料は一切使用せず、有機肥料のみを使用しています。農薬を減らすには大変な努力が必要ですが、堆肥や有機質肥料を使い土作りに力を入れて、環境や人にやさしい循環型の農業に取り組んでいってくださっています。

園集会でもお伝えさせておりますが、今年度から主食費を改定させて頂きました。昨今の物価の上昇に伴い、お米の仕入れ価格も上がってしまっています。安全な食を引き続き子どもたちに提供していくために、保護者の皆様にもご負担をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願い致します。

お米研ぎの他にも、ピーラーや包丁を使ったお手伝いも徐々に取り入れていっています。様々な経験を通して、食べる事が好きになってもらえると嬉しいです。